

NEW ヒライ信



VOL.2
NO. 77
(第177号)



がくしゅう 楽習塾 塾長 平井 たかお 幸雄

hiraisin@par.odn.ne.jp

旬な漢字



日本には春夏秋冬の四季がある。その季節を先取りする、いわゆるはしりと呼ばれるもの、その時期に見られるもの、素材がもっとも美味しい時期でもある「旬」がある。そんな季節を感じる「旬」を味わってみたい。そこで、春夏秋冬の漢字が含まれる、「旬」な感じの漢字を並べてみた。ご笑味・ご笑覧あれ！

色四季	青春	朱夏	白秋	玄冬
<small>きへん</small> 木偏の感字 春は椿 夏は榎で 秋楸 冬は柗 同じくは桐	<small>つばき</small> 椿	<small>えのき</small> 榎	<small>ひさぎ</small> 楸	<small>ひいらぎ</small> 柗 桐
<small>うおへん</small> 魚偏の漢字 春鯖 夏は鱈で 秋鰻 冬は鮫 雪は鱈	<small>さわら</small> 鯖	<small>この漢字 はない↓</small> <small>しいら</small> 鰻 鱈 <small>暑さかな?と読むかな?</small>	<small>かじか</small> 鰻	<small>このしろ</small> 鮫 鱈
<small>にんべん</small> 人偏の漢字 春うわき、夏はげんきに、 秋ふさぎ、冬はいんきで、 暮れはまごつき	<small>うわき</small> 倅	<small>げんき</small> 復	<small>ふさぎ</small> 俅	<small>いんき</small> 佟 僦
虫篇と口篇の漢字	<small>うごめく</small> 春 虫	<small>カ</small> 嗔 <small>声がかれるの意</small>	<small>シュウ</small> 啾 <small>小さな声の意</small>	<small>いなご</small> 冬 虫
その他	<small>しゅん おろ(か)</small> 嬉 愬 <small>うつくしい みだれ(る)</small>	<small>ひさし(大きい家)</small> 厦 厦	<small>くわ・すき うれい</small> 鍬 愁	<small>うすく ふき</small> 疼 苳
	他にも「春」のつく漢字が こんなにもあるそうですが 読めません。意味も不明? 刮嗜倅愬戡截拵搯敲散蕞 犇馥龠稔稔稔稔稔稔稔稔 鍪霁驂鬃魏鵠鸞膳膳闞驂 堵嗜渚瑯嗜筹暮蟄髻嗜蹙		<small>はぎ うれえる</small> 菽 愀 <small>しりがい/馬具の一種</small> 鞦 <small>く/湿地・水たまり しきがわら</small> 湫 甃	<small>つつみのおと</small> 蹙 <small>しゅう・おわり・つい</small> 終

似た漢字

うえんがいしろうぎよ

烏焉亥豕魯魚の誤り【文字の書き誤り。文字の造形が似ていて書き誤ること。「烏」と「焉」、「魯」と「魚」、「亥」と「豕」は、それぞれ字形が似ていて、誤りやすいことからいう】江戸時代に烏亭焉馬（落語中興の祖）という芸名の噺家がいた。おそらく、この喩えから付けたと考えられる。

そこで、字面が似た者同士、似て非なるもの、類似している漢字を探してみた。

とり 鳥	からす・う 烏	「鳥」の横線一本トリますと「烏」に、「鳥」の中の線がカラになると「烏」
こう・そうろう 候	こう 候	様子を伺ったり、きざし、待つのが「候」。「人」の字に弓矢を持って立つ兵士が「候」
ど・おこる 怒	ゆるす 恕	女の又の下心を持つと怒られる。女に口説かれると恕す。
まさかり 戍	つちのえ 戌	はねて「戌・まさかり」。何もなければ「戌・ポ」「戌・つちのえ」の字。ちゃんと垂らして「戌(ジュ)」「戌(いぬ)」も歩けば棒に当たる
いぬ 戌	まもる 戌	
うり 瓜	つめ 爪	瓜に爪あり、爪に爪なし
こん・おく 壺	つ ぼ 壺	宮中の女性が住む部屋が「壺」。「壺」と「壺」を間違えるのは「思う壺」
いや 苟	いら 苛	苟は、(いやしく)もの意。苛は、(いらいら)させての意。苟(じゅん)は中国、朝鮮の姓の一つ。苟は、竹冠に苟、10日間(一旬)で竹に成長するで、この字になった。
じゅん 苟	たけのこ 筍	
い 胃	かぶと 胃	「胃」は消化器。「胃」は下が月(にくづき)ではなく、横線二本が門と接していない。甲胃(カッチュウ) 「胃」は血筋・跡継ぎの意。
ちすじ 胃		
むじな 貉	むじな 貉	全部動物です、貉と貉は別字です。
てん 貂		同じ穴の貉・貉・貂?
せり・きょう 競	つよし・きょう 競	競り合う競争勝つか負けるか? 戦戦兢兢(おそれてびくびくする、恐れ慎むさま)
じ 治	や 冶	治める・政治・治療 鍛冶屋・冶金、玄冶店(げんやだな)
もとる・らつ 刺	とげ・し・さす 刺	元氣澆刺(はつらつ) 刺繍(ししゅう)
かき 柿	こけら 柿	「柿」は旁が市=なべぶた+巾。「柿」は、縦棒が突き抜けて一本。材木の切り屑のこと。

ひ 日	いわく 日	「日」よりも横長、中の横線は右まで書かない「日」。「日く付き」な感じ(漢字)
さけ 酒	しゃ 洒	「酒」に溺れるのが「酒飲み」。水で洗い清め、さっぱりしているのが「洒落」。
あがめる 崇	たたる 崇	「崇」は山+宗で、あがめる。「崇」は出+示で、追い出されるで、たたり。
い 己	こ 己	き・こ・おのれ・つちのと下につき、 い・すでに中に し・みは皆つく 己己己己(いこみき)
み 己	おのれ 己	
はる 春	しゅ・うすつく 春	「春」は草が日を受けて群がる。「春」は両手で日(杵)を扱う様子を表している。
はぎ 萩	おぎ 萩	萩は、秋の七草。萩は、薄(すすき)にととても近い植物です。おぎやはぎ(小木矢作)
うける 丞	じょう 丞	「丞」は、補佐する、助ける、受ける、という意。
しょう 蒸	むし 蒸	「蒸」は、むす、ふかす、もろもろ、多くの意。 「蒸」は、熱気・湯気が立ち上る、蒸気で熱するの意。
あじ 味	まい 味	地味(はなやかさがなく、目立たない)で 曖昧(ぼんやりとしており、はっきりしない)な 愚昧(愚かしい)さ
くらい 昧		
こ 子		蚊の子は子子(ぼうふら・ケッキョ)
ひとり 子	けつ 子	
や・し 矢	しつ 失	一矢を報いる(反論する)。千慮の一失(いくら考えても失敗はある)
じゅん 准	え 淮	「淮」は平らにならず、なぞらえる。准教授。 「淮」は等しくする。かこむ。
はれ 晴	ひとみ 晴	臥龍点睛を欠く 晴れた晴(ひとみ)
なつめ 棗	とげ 棘	「棗」は夏に芽が出る(夏芽)に由来する。「棘」は植物体に生じる刺状の構造の総称。

今は、パソコンやスマホなどで、読みを漢字変換するので、書き間違いは少ないが、逆に、読みがわからなくて、その漢字を打ち出せない。また、漢字を間違えて読んでしまうことが多い。

